

大阪口腔インプラント研究会 第 111 回例会のご案内

前略 平素は本会にご協力頂き感謝申し上げます。

さて標記のように第 111 回例会を開催します。

招待講演には、大阪大学大学院歯学研究科 高次脳口腔機能学講座 顎口腔機能治療学教室 教授 阪井丘芳先生に『口腔機能の回復をめざして ～ドライマウス、摂食・嚥下、OSAS に対するアプローチ～』と題して講演して頂きます。

教育講演では、英保裕和先生に『接着における防湿の重要性と 3D ビデオ顕微鏡の臨床応用』について講演頂きます。スタッフの皆様共々ご参加ください。

草々

記

日時：平成 25 年 9 月 1 日(日) PM13:00～PM17:00

場所：大阪国際会議場 12 階 1202 会議室

プログラム

	招待講演	座長	吉田春陽先生
13:00～15:00	口腔機能の回復をめざして ～ドライマウス、摂食・嚥下、OSAS に対するアプローチ～	演者	阪井丘芳先生
休 憩			
	教育講演	座長	白井敏彦先生
15:30～17:00	接着における防湿の重要性と 3D ビデオ顕微鏡の臨床応用	演者	英保裕和先生

費用

会員	無料
会員 (コ・デンタル)	1,000 円
会員 (勤務歯科医)・ビジター (歯科医・コ・デンタル)	10,000 円

今後の例会日程

第 112 回例会 2013 年 11 月 10 日(日) PM13:00～ 大阪国際会議場 10F 1009

第 113 回例会 2014 年 2 月 23 日 (日) PM13:00～ 大阪国際会議場 12F 1202

第 114 回総会 2014 年 6 月 29 日 (日) PM13:00～ 大阪国際会議場 12F 特別会議室

第 115 回例会 2014 年 9 月 23 日 (祝) PM13:00～ 大阪国際会議場 12F 1202

例会報告・例会案内・会費納入先などはホームページ (<http://www.osaka-implant.com>) を参照ください

会員のページへのパスワードは **implant** です

参加される会員先生は 2013 年 8 月 24 日までに申し込みをお願いします。

大阪口腔インプラント研究会 第 111 回例会参加申込書 FAX 06 - 6745 - 9880 まで

会 員 氏名 _____ 会員以外は必ず職種を記載下さい。

同伴者 氏名 _____ 職種 (歯科医) (コ・デンタル) (会員勤務コ・デンタル)

口腔機能の回復をめざして ～ドライマウス、摂食・嚥下、OSAS に対するアプローチ～

大阪大学大学院歯学研究科 高次脳口腔機能学講座 顎口腔機能治療学教室
教授 阪井 丘芳

超高齢社会に突入し、介護現場でも歯科に対する期待は高まりつつあります。さらに、周術期の口腔ケア・チーム医療が推進されるようになり、歯科の職域の拡大が始まりつつあります。新聞やニュースでは歯科医師過剰が叫ばれていますが、臨床現場では実際に口腔機能を治療する医療従事者が不足しています。

1972年、私が所属する顎口腔機能治療部は口腔機能を治療する部門として生まれ、オリンパスと共同で口蓋裂患者の言語治療のために鼻からの軟性内視鏡を開発に関わりました。鼻からの内視鏡は苦痛が少なく画期的でご存じの先生方も多いと思います。その知見から、摂食・嚥下障害、睡眠時無呼吸症候群（OSAS）、口腔乾燥症（ドライマウス）の診断・治療に応用しています。これからの発展をめざして、教室の活動と地域との連携について紹介します。

我々は誤嚥性肺炎予備軍として、ドライマウス患者の口腔ケア活動を行っています。一般的にドライマウス患者は健常者と比較して、口腔内の自浄性が低く、食塊形成が不良であるために誤嚥性肺炎発症のリスクが高いと言われています。むずかしい教科書が多数出版されていますが、なかなか治療のポイントがわかりにくいものです。実際にドライマウス患者の誤嚥が生じる様子を動画で示し、臨床に役立つような知識と対応法を紹介します。

さらに、OSAS に対する歯科的アプローチも装置作りだけでなく、実際の診断に基づいた理解と治療への参加が求められています。我々の取り組みと医科との連携を示しながら、明日からの臨床に役立つようなポイントを紹介させていただきます。

接着における防湿の重要性と 3D ビデオ顕微鏡の臨床応用

The importance of isolation on bonding and clinical application of a 3D video microscope

兵庫県三田市開業 英保 裕和

本講演では接着の質を高めるためのポイントと、最近開発されつつある 3D ビデオ顕微鏡の臨床応用の 2 つについて解説する。

最初に、接着における防湿の重要性に関するエビデンスの供覧と 3 種類の防湿装置(Rubber dam and two other modified suction systems)が口腔内の温度湿度に与える影響に関する我々の研究結果の報告を行う。

次に、Mora Interface の開発者で知られる Dr. Assad F. Mora によって開発された最新型 3D Video Microscope (Mora vision 2)について解説する。Mora Vision 2 はモニター上の Stereoscopic 3D 画像を見ながら治療を行う顕微鏡で、患者、患歯に対するアクセスの自由度が極めて高い。最近、米国における評価が急速に高まりつつあり、Indiana 大学に導入された他、世界的に著名な補綴医である Dr. Goodacre も導入を決定した。

最後に、この 3D Video microscope と modified suction system をどのように接着歯科臨床に応用するかを解説する。